

本館・東病棟の紹介



平成23年6月に着工した本館・東病棟がいよいよ完成いたしました。『京ヶ峰の四季』リニューアル号として、今回は新しい建物の一部をご紹介します。

本館1階の外来、検査部門では診察室や、医療福祉相談室、心理療法室などの数を十分に備え、採光や天井高、広さにも配慮し余裕をもった造りにいたしました。検査では新たにCTを導入しました。電子カルテも導入し、初期の混乱で皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、今後は新しい本館を安心して心地よく利用していただけるよう職員一同「魂」を吹き込んでまいりたいと思います。これからも地域に根差した病院づくりを進めていきます。

副院長 岡田京子

1F

1階待合ロビー

2階まで吹き抜けの待合ロビーは、大きな窓から光が差し込み、開放的で明るい雰囲気の中でゆったりとお待ちいただくことができます。



待合ロビー



受付カウンター



CT



診察風景



相談風景



脳波



心電図

1階外来診療エリア

7室に増えた診察室は、それぞれがゆとりのある広さを確保し、自然光が入るよう配慮しました。診察室の他に、心理療法室を4室、医療福祉相談室を3室設置しました。

1階検査エリア

放射線検査と生理検査を1箇所にとりまとめ、患者さまの検査負担の軽減を図ります。また、新たにCTを導入し、検査機能の充実を目指します。

2F



医局

2階病院管理部門

院長室をはじめ、病院の管理機能を2階に集約しました。また最大84名収容の会議室では、スタッフの研修など各種会議の開催により、チーム医療を推進し、精神科医療の充実に寄与してまいります。



会議室



スタッフステーション

3F



個室



4人床

3階東病棟

急性期治療が必要な患者さまが治療に専念できるよう、静けさとプライバシーを尊重した環境を整えました。

新館も完成し、当院の新しい医療・看護が始まろうとしています。ハード面は、広い空間と落ち着いた色彩、そして多くの個室を作り、治療環境を整えました。また、患者さまの安全を確保するための機器も取り入れました。この新しい空間でどのようなサービスが提供できるか、それは看護師一人ひとりの笑顔が根源となります。そして、スタッフステーションでテーブルを囲んで多職種と情報の共有を図りながら、患者さま一人ひとりの幸せに真剣に取り組む姿、この時間が精神科看護を始める一歩となります。既に始まりつつありますが、今後は入院中から患者さまも交えたカンファレンスを行ない、家族の方はもちろんのこと患者さまの声を聞きながら早期の社会復帰に向けた看護を展開したいと考えています。

総師長 森 澄美江